



岡山県で高品位尿素水 AdBlue®の製造工場が竣工 ～グループで2カ所目、西日本では初の自社工場が稼働します～

伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:吉田朋史、以下「伊藤忠エネクス」)は、岡山県倉敷市にグループで2カ所目、西日本では初となる AdBlue®※1(以下「アドブルー」)の製造工場を新設し、11月20日に竣工式を執り行いました。12月より製品の出荷を開始する見通しです。

アドブルーとは、ディーゼルエンジン車の排気ガス中に含まれる有害な窒素酸化物(NOx)を無害化する効果を持つ高品位尿素水です。日本では環境省による排出ガス規制を受け、アドブルーの使用を必須とする尿素 SCR システム※2を搭載したディーゼルエンジン車両が年々増加しており、これに伴いアドブルー需要も成長を続けています。

伊藤忠エネクスグループは、配送網を全国に広げながらアドブルー販売を強化してまいりましたが、2021年にグループで初となるアドブルーの製造工場を埼玉県に新設し、製造領域にも進出しました。今回新設するアドブルー製造工場においては、岡山という立地を生かし今後需要が見込まれる船舶向け AUS40 の販売強化も視野に入れております。グループとして徹底した生産管理を行いながら、東日本におけるアドブルー供給の安定化に取り組んできたノウハウを生かし、西日本においても強固なアドブルー供給体制の構築を目指してまいります。

伊藤忠エネクスは[中期経営計画「ENEX2030」](#)で「現場力の強化」を掲げており、本取組みはこれに合致するものです。本取組みを通じて、全国におけるアドブルー供給のさらなる安定化を図りながら、地球環境への負荷低減、運送業界の事業継続に貢献してまいります。

※1 AdBlue®(アドブルー®)は、ドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。

アドブルーについての詳細は、伊藤忠エネクス公式メディア「Blue Media」の[「アドブルーって何？」](#)をご覧ください。

※2 アドブルーを排気ガスに噴霧することで、排出ガスに含まれる窒素酸化物(NOx)を無害化するシステム

【施設概要】

施設概要	
施設名	伊藤忠エネクス株式会社 岡山アドブルー工場
所在地	岡山県倉敷市福江 539-1
生産能力	月間 2,000KL



新工場に整備した尿素水を貯蔵するタンク

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社
経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室
TEL: 03-4233-8003